



学校通信 赤坂小だより

令和7年度 第24号 R8.1.21

北九州市立赤坂小学校

校長 大成 清徳

阪神淡路大震災から31年

自分の命を自分で守る行動を～地震対応避難訓練実施

◎先週の1月16日(金)2校時、本校では、地震発生を想定した避難訓練を行いました。これは、地震の被害から身の安全を守る方法を理解させるとともに、「退避行動」を身に付けることを目的に、毎年実施しているものです。

学級での事前指導の後、緊急地震速報の放送が流れます。それに合わせて、子どもたちは低い姿勢になって、頭を守りながら教室の机の下にもぐります。「揺れが収まりました」の放送後、各学級で避難経路に沿って運動場に速やかに避難をします。避難開始から、全校児童が運動場に集合し、人員点呼が完了するまでにかかった時間は、なんと3分12秒!!前回の訓練より、30秒以上短縮されました。避難する時は、黙って、前の人を押すことなく、整然と速足で移動していました。その後の校長からの話を聞く際も、しっかり顔をあげて、よい姿勢で聞いてくれており、成長が感じられました。今回の訓練は、文句なしの100点満点でした。

毎年、この時期に行う避難訓練は、31年前に発生した阪神淡路大震災に合わせて行うものです。震災の記憶を風化させることなく、日頃から心構えを怠らないため、節目のこの時期に、災害への備えを確認しておきたいものです。



倒壊した阪神高速道路



翌日まで火災が続く神戸市

<避難訓練での校長講話>

今から31年前の1月17日、阪神淡路大震災が起こりました。みなさんが生まれるずいぶん前のことです。6,434人もの方が犠牲になり、地震や火災でおよそ10万5000棟の家屋が全壊するなどの被害が出ました。避難訓練は、自分の命は自分で守る、そして、みんなの命を守るために大切な学習です。今日のみんなの訓練に臨む態度は、大変立派でした。避難訓練は「自分の命を自分で守れることができるようになるため」に行います。担任の先生の指示に従って、静かに速やかに避難できた今日の行動を忘れず、いざという時に備えておきましょう。

以前、阪神淡路大震災で被災された語り部の方にお話を伺う機会がありました。震災で大切な命や家族、住む場所等多くのものが失われました。その中で、支えになったのは人とのつながりでした。みなさんも、困ったことがあれば、周りの人と声を掛け合って、助け合うことで乗り越えてください。

今日、お家に帰ったら、防災グッズや避難場所の確認等をご家族としておきましょう。避難訓練にしっかり取り組んだ、みなさんが家族のリーダーとして、お家の方に話してほしいと思います。

上記のように子どもたちには伝えてあります。「まさか自分の身近なところでは災害は起こらないだろう」という油断が、大きな被害を生むことにつながります。お子さんから話題が提供されたら、災害への備えができているか、改めて確認してください。また、災害が起きたとき、どのように行動したらよいか、避難場所はどこかなど、是非話し合ってみてください。よろしくお願ひします。

☆学校保健委員会報告

◎1月20日(火)、保健委員会の企画・運営の下、学校保健委員会が行われました。保健委員会では、「みんなが元気で健康な学校」を目指して、歯に関する掲示物を作成したり、給食時間に体や健康に関する放送をしたり様々な活動を行ってきました。

今回の委員会では、学校医の鍵山先生をお迎えして、新年に向けて『今年も健康に過ごそう』というテーマで作成したパワーポイントを紹介しました。鍵山先生からは、その内容に関して、より健康に過ごすために気を付けてほしいことを、5つの質問に答える形式で詳しく教えていただきました。

Q1.朝は眠くてお腹が空いていません。
それでも朝ご飯は食べた方がいいですか?

Q2.朝、栄養バランスの良い食事をとるにはどんなものを食べたらいいですか?

Q3.うがいをするタイミングを教えてください。うがいの効果も教えてください。

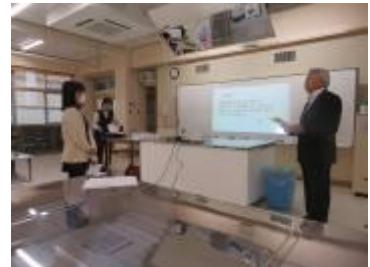
Q5.なかなか眠れない時、よく眠るためにできることがあれば教えてください。



Q4.お風呂の温度は何度くらいで、どれくらいつかるとリラックスできますか?

◎鍵山先生には、一つ一つの質問に丁寧にご回答いただき、

大変勉強になりました。ありがとうございました。保健委員会では、今回教えていただいたことをお昼の放送や掲示物を通して、全校にお知らせしていく予定です。大寒を迎え、寒さが厳しくなる時期です。保健委員会からの提案を参考に、規則正しい生活を送り、健康維持に努めてほしいと思います。



◆お世話になります。ふるさと会のみなさん

◎来月は、ふるさと会のみなさんのお招きして、毎年恒例の以下の取組が計画されています。

子どもたちがこれまであまり経験したことのない昔ながらの伝統的な遊びや、火おこしなどの手ほどきをしていただきます。子どもたちも、楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

2月6日(金)【1年】むかし遊び(1~3校時)

<遊びの種類>

- ・独楽…鉄芯と木芯の独楽を、ブルーシートの上で回します。
- ・けん玉…ひもの長さが様々なけん玉。うまくお皿に乗せられるかな?
- ・お手玉…歌に合わせてお手玉を投げ上げます。
- ・あやとり…毛糸でいろいろな形を作ります。
- ・おはじき…おはじきを当てっこして遊びます。
- ・めんこ…勢いよく投げてひっくり返します。

◎体育館で、それぞれの遊びを体験します。

お楽しみに!

2月18日(水)【3年】七輪体験(3・4校時)

◎最近では、家庭で見ることのなくなった七輪。昔は、暖をとるために火おこしをして使っていました。

七輪に燃えやすい木切れなどを入れて、炭で火をおこします。火が大きくなったら、網の上にかき餅を置いて、ふくれるまで焼きます。

◎当日、七輪の上で焼くかき餅は、地域のみなさんが、市民センターで餅について、この日のために準備していただいたものです。

アツアツのお餅を感謝の気持ちをもって、みんなでおいしくいただきましょう。